

令和4年度 学校評価書(最終評価)										※1段：R4 最終 2段：R4中間 3段：(R3最終)				輪島市立東陽中学校			
重点 目標	外部アンケート				小 数 点 第 一 位 四 捨 五 入	自 己 評 価				達成度状況の考察(○)と改善方法(●)							
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート			評価指標		達成度評価規準						中間	最終		
1 確 かな 学 力 の 向 上	学校は、学力向上に努力している。	86 86 (92)	自分の考えをわかりやすく説明できる。	86 75 (68)	【努力指標】 「魅力ある授業」を目指して授業改善に努め、生徒が「主体的・対話的・深い学び」を実行できている。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	A	A	○「わかりやすい説明」は11%向上。話し方や手法について、生徒と共通理解を図り、全職員で共通実践を積み重ねてきた成果といえる。うまくいった事例をもとに今後の改善策を図りながら継続していく。 ○「まとめを自力で書く」も向上。自力解決するための時間の確保と、よりよい書きぶり「結論→理由」等を示しながら指導を重ねてきた成果と言える。 ○話し合い活動を通して「自分の考えが深まっている」と感じている生徒の数値は安定している。他者と意見交換をすることで、曖昧だった思考を明確にさせたり、多様な視点で思考する授業展開に取り組んでいる成果と言える。 ⇒●話し合いについて行けないと感じる生徒がなくなるように、まずは自分の考えを持つことができるように、教師が問い返しや切り返しの発問の質を上げて指導する。 ○学びの確認のための「授業の振り返り活動」が学習意欲につながっていると実感している生徒は15%向上した。今後も授業後や単元末で何ができていれば良いのか教師が明確にし、生徒が「わかった・できた」が感じられる授業展開を工夫する。								
			授業のまとめを自力で書こうとしている。	100 90 (96)													
			先生や友達との発問や、話し合う活動を通して、自分の考えが深まっている。	91 95 (92)													
			話す、書くなどの表現力が身に付いてきている。	95 95 (92)													
			授業の振り返り活動は学びの確認や学習意欲につながっている。	95 80 (84)													
	子どもには、家庭学習の習慣がある。	60 62 (65)	毎日の課題や宿題を提出している。	76 95 (88)	【努力指標】 各学年の目標家庭学習時間を達成できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	B	B	○宿題を提出していない生徒が増えている。宿題の内容も難易度が上がったたり、量も増えてきていることでますます提出できなくなっている。 ●提出できなかった理由と生活習慣との関連をとり、個別の指導をするとともに提出方法の工夫等を継続して行う。また、授業との関連を図り、取り組む意欲を喚起する。								
			毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。学年目標の家庭学習に取り組んでいる。(1年60分 2年70分 3年90分)	81 85 (92)													
子どもは、睡眠を7時間30分とっている。	67 80 (85)	睡眠を7時間30分とっている。	76 85 (92)	【努力指標】 家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	A	B	○睡眠時間についてはさらに数値が低下している。(1・3年に1名ずつ増加)。生活のリズムとともに、やらなくてはならないことの優先順位を適切につけられないことが原因と考えられる。 ●再度、睡眠と日常生活のパフォーマンス力の関連を指導する。特に、受験を控えた3年生が試験当日にベストの状態です試験に挑めるように、生徒会等を利用して時間の使い方について考えさせていく。									
子どもは、朝食を食べている。	95 100 (96)	朝食を食べている。	95 95 (92)														
子どもは、決まりを守って生活している。	95 91 (100)	*	*														
保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	67 62 (73)	ゲーム・インターネットは宿題等とのバランスを考えて使用している。	57 50 (32)						C	C	○ネット利用に関しては数値はわずかに改善しているが、十分とは言えない。特に1年生にネット利用時間が多く、家庭学習時間や宿題の提出に関連している。 ●「生活ノート」でネット利用と学習の時間を把握するとともに、時間の使い方の改善について生徒会を利用して学校全体で考えていく。						
保護者として、輪島市ルール(9時以降は使用しない)や家庭内ルールを守らせている。	38 48 (50)																
2 主 体 的 に 行 動 で き る 生 徒 の 育 成	子どもは、喜んで学校に行っている。	95 95 (85)	学校は楽しい。	95 90 (96)	【努力指標】 部活動や生徒会・委員会活動や各種行事などを通して、充実した学校生活がおくれるように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	B	A	○わずかにあった「学校へ行くのが楽しい」に対する否定的回答が改善し、ほぼ全員が肯定的回答であった。 ●今後も継続して、生徒自身が達成感や自己肯定感を感じられるような支援を行う。そのためにも、生徒の生活の様子を見守り、情報交換を行いながら支援する。特に生徒会活動などの自治的な活動を推進し、協働体験や成功体験を仕掛けていく。 ○部活動は現在2つだけの活動となっているが、生徒が成長できる場として活動や指導を工夫している。 ●選択肢が少ない部活動でいかに生徒のモチベーションを上げながら活動を促すかが今後の課題である。小回りがきくことを利点として、様々な挑戦を仕掛けていくことが重要である。								
	学校は、行事が充実するように努力している。	95 91 (100)	部活動で自分は鍛えられている。	100 90 (100)													
	学校は、子どもの表現の場を大切にしている。	95 100 (100)	集会等で自分の考えを伝えている。	76 45 (64)	【努力目標】 将来の夢を実現するために、キャリア教育を推進できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	B	B	○「集会等で自分の意見を伝える」に対する肯定的回答が3年生・2年生に増えていることから、生徒会活動で責任を任されることが自信につながっていると考えられる。 ●今後も、安心して発言できる場の雰囲気、人間関係など、生徒指導の3機能(自己決定・自己肯定感・共感的人間関係)を生かしつつ、生徒を支援していく。								
			物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。	91 90 (100)													
			難しいことにも、失敗を恐れなくて挑戦している。	76 65 (80)													
	子どもは、自分から挨拶ができる。	95 95 (92)	自分から挨拶ができる。	100 95 (84)	【努力指標】 挨拶やマナーなど、中学生らしくその場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	A	A	○生徒集会で「気持ちの良い挨拶」を共有したことで全員が肯定的回答となった。今後も継続できるように、学校全体で取り組んでいく。								
	子どもは、家の手伝いをしている。	60 62 (65)	家で手伝いをしている。	52 60 (76)			B	B	○「手伝い」については学年が上がるにつれて肯定的回答が多い。 ●家庭の事情によることも大いにあるが、任されることによって子ども達の自己有用感につながる。自分ができることから取り組むよう考えさせていく。								
	子どもは、将来の夢や希望をもっている。	76 76 (92)	将来の夢や希望を持っている。	62 70 (72)	【努力目標】 将来の夢を実現するために、キャリア教育を推進できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	B	B	○将来への夢や希望は、自己肯定感とも連動していると考えられる。 ●さまざまな職種の人や地域人材との交流を通じたキャリア教育を推進し、自身の可能性について考えさせていく。								
	学校は、生徒理解に努め、適切に対応している。	100 100 (96)	自分にはよいところがある。	76 55 (76)	【努力指標】 教育相談活動を充実させるなど、生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、共感的人間関係づくりと自己有用感が高まるように生徒指導に努めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	B	B	○自己肯定感は昨年並みに回復したが、十分とは言えず、1・2年生の否定的回答が改善していない。「褒められたり認められたりすることがある」の認知の数値と同値である。 ●心配な生徒に対しては次期を問わず教育相談を行い支援をする。また将来に対する期待や夢を持つことができるよう、継続してキャリア教育を推進する。								
	保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	91 100 (100)	褒められたり認められたりする時がある。	76 85 (92)													
保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	86 95 (100)																
3 保 護 者 ・ 地 域 と の 絆	学校は、生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	100 100 (96)	*		【努力指標】 学校だよりや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。	◆保護者アンケート A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満	A	A	○保護者や地域の方々に、学校での様子を細やかに発信していくことや学校公開などを通して、本校の教育活動に理解をしていただく努力を今後も継続していく。								
	学校は、通信等で方針や生徒の様子をわかりやすく知らせている。	100 100 (96)	*														
	保護者として、学校からの通信に目を通している。	100 100 (96)	*		【努力指標】 生徒に対し、ふるさとや地域に目を向けさせ郷土愛を深めることができた。	◆生徒アンケート A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満	B	B	<評価委員の皆さまの助言により、後期は質問を赤字のように変更> ○総合的な学習の時間や学校行事を通して、生徒たちは保護者や地域の方々から厚い支援を受けていることを感じ取っている。ふるさとにどのような形で貢献していくか、キャリア教育等を通して今後も考えさせていく。								
	保護者として、行事があるときは都合をつけて参加しようとしている。	95 100 (96)	*														
	*		東陽中学校の生徒であることに誇りを感じる。	91 90 (92)													
	*		地域の人たちは、やさしく、深い絆を感じる。	100 84 (100)													
	*		将来地元貢献したいと思う。 (将来地元に戻って働き、生活したいと思う。)	62 30 (60)													